

平成15年度 決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は議員十一人で構成し、十一月一日、二日の二日間開きました。

町長をはじめ関係職員の出席を求め、一般会計・特別会計・水道企業会計を慎重に審査した結果、いずれも全会一致で認定しました。

歳入

Q たばこ税が増えているが。

A 売上本数は減少しているが、税率が上がったため。

Q 税の収入未済を出さないための方策は。

A 収納体制を強化するとともに、コンビニなどを利用する納付窓口の拡充、口座振替の促進を図っている。

Q 入湯税の使い道は。
A 公共下水道事業に使用している。

歳出

総務

Q 防災備蓄品は、何人分
で何日分か。

A 一八〇〇人分で一日分。

Q どこに備蓄しているのか。

A 各小学校に備蓄倉庫を作って保管している。



備えあれば……

福祉保健

Q 町内の保育所の施設が古くなっているが。

A 交通の便も含めて、総合的に検討する。

Q 最近、公害調査の結果の報告を受けていないが、調査はしているのか。

A 調査はしている。集積しているデータを整理して議会に報告する。

Q 災害時の安芸地区医師会との取り決めはあるのか。

A 阪神大震災後に、協定を結んでおり、体制はできている。



貸出数は県内一

教育

Q 救急医療ネットワークとは何か。また、海田町のホームページには入っているのか。

A 今診察してもらえ医療機関を検索できるシステムで、広島県のホームページからアクセスできる。

Q 教育相談の成果は。

A 十五年度に二人復学している。

Q 両公民館の耐震診断の結果はどうだったか。

A 芸予地震クラスでは大丈夫だが、阪神大震災クラスでは崩壊の可能性がある。

Q 図書館の貸出数が町民一人当たり一〇・五点と大変高いが、県下ではどのくらいのレベルになるのか。

A 県下ではトップで、全国的にもトップクラスである。

Q あいさつ運動の成果は。

A 各団体の取り組みで、子どもたちもよくあいさつをしてくれるようになってきているので、成果はあると認識している。

Q 学校へ行くこう週間の状況はどうか。

A 各校一日平均十人程度来られている。

Q 十五年度末の各校のパソコン整備状況はどうか。

A パソコンの授業では一人一台使えるようになってきている。



上達しました

水道

Q 職員数が定員二十一人に対し、実数は十四人であるが大丈夫なのか。

A 浄水場の管理を委託しているために減員できている。

Q 給水量が減少してきているが原因は何か。

A 下水道の整備も一つの要因ではあるが、業務用の減少が大きく影響している。

下水道

Q 十五年度末で下水道未接続の世帯はどのくらいあるのか。

A 一割強ほどである。